

RPPC メールマガジン 第 775 号

リサイクルポート推進協議会（令和 1 年 5 月 22 日）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表はありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. RPPC 第 2 3 回運営委員会について

日時：2019 年 5 月 28 日（火）14:00～

場所：TKP 虎ノ門駅前カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4A

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-toranomon-ekimae/access/>

2. リサイクルポート推進協議会年次総会について

日時：2019 年 6 月 4 日（火）16:10～17:15

場所：第一ホテル東京シーフォート 3 階ハーバーサーカス

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾分科会で港湾開発等の基本方針まとめ

国土交通省港湾局は 5 月 15 日、「交通政策審議会第 73 回港湾分科会（部会長＝小林潔司京都大学経営管理大学院教授）」を開催し、国の港湾行政の指針、ならびに港湾管理者が個別の港湾計画を策定する際の指針となる「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の変更案について審議した。昨年 7 月に策定した港湾の中長期政策「PORT 2030」の方向性等を踏まえ、港湾法に基づく基本方針も大幅に見直す。特に戦略的に取り組むべき事項、引き続き重点的に取り組む事項に分け、港湾局に關係する施策を網羅的に示している。

今後は今回の議論を踏まえて答申案をまとめ、港湾管理者への意見照会等を経て、交通政策審議会に答申する。6 月頃に基本方針変更告示を行う予定。

新たな基本方針案では、港湾開発等に関する基本的な考え方を示しているほか、「特に戦略的に取り組む事項」の方向性として、

- ①我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築と物流空間の形成、
 - ②観光立国と社会の持続的発展を支える港湾機能の強化と港湾空間の利活用、
 - ③国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保、といった3項目を提示している。
-

2. 境港の長期構想策定へ検討作業、来年度に次期改訂計画へ

境港管理組合は境港の次期改訂計画策定に向け、その前段となる境港長期構想づくりの検討を進めている。次期改訂では、物流・産業、人流・賑わい、安全・安心、環境といった総合的な視点から、北東アジア諸地域とのゲートウェイ、環日本海地域における西日本の交流拠点としての機能を備えた港を目指すことにしている。境港を利用している荷主や物流企業など港湾関係者からのヒアリングも行い、これから計画内容を深めていく。

境港の現行の港湾計画は平成17年に、30年代前半を目標として策定されている。改訂時期を迎えていることから、概ね20年～30年先を見据えた長期構想づくりの検討に入っており、昨年11月に第1回長期構想委員会を開催している。

境港の現況はコンテナ、全体貨物取扱量とも堅調に推移しているほか、企業進出も期待できることから、次期改訂では港湾取扱い貨物量の増加に対応した施設計画をまとめめる。

物流面ではバルク、コンテナ、国際定期フェリー貨物取扱機能の強化。人流・賑わいでは、クルーズ船の受け入れ環境の向上。安全・安心では大規模地震時における緊急物資輸送及び物流機能の維持。環境ではリサイクル貨物取扱機能の強化、等を計画に盛り込んでいく方針。

3. 坂出港、ニューポートプラン策定中

香川県坂出市と四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所は、「坂出ニューポートプラン」の最終とりまとめに向けた作業を進めている。6月にも最終委員会を開催して公表する予定。

「坂出ニューポートプラン」は坂出港の概ね10年間に取組む方向性を示すこととしており、必要に応じて港湾計画の一部変更などを通じて施策に反映していく。これまでの議論では、新たな企業誘致による未利用地の活用、エネルギー拠点機能の強化としてのバンカリング基地やバイオマス発電、クルーズ船寄港の促進、港湾施設の老朽化対策などを課題として挙げている。

坂出港は四国の海上物流の中枢を担っており、林田地区の水深12m岸壁では四国に移入する完成自動車の約7割を取扱っている。また東運河地区の公共ふ頭では鋼材を移

入し、全国の造船所を仕向地とする加工基地機能を担っている。ただサプライチェーンのグローバル化や国内生産拠点の統廃合、わが国へのクルーズ船寄港の拡大など、坂出港を取り巻く環境は大きく変化してきている。また港湾主要施設の老朽化も進行している。

目指すべき将来像として、

- ▽物流機能強化に資する定期航路の誘致、
- ▽物流・生産機能拠点としてのふ頭の再編、
- ▽臨海部を有効活用した港湾空間の機能向上、
- ▽坂出港及び瀬戸内海の魅力を生かしたクルーズ船誘致、
- ▽賑わい・交流拠点の創出、
- ▽四国の防災拠点としての機能強化などを挙げている。

【港湾空港タイムス 5月20日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の
情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡